

IV. 計画の実現に向けて

1. 重点検討課題

近年、本市では、高齢化の進展や郊外での宅地化の進展、広域交通網の整備に伴う都市間競争の激化といった、これまでに抱えたことのない大きな課題に直面しつつあります。

これらについては、放置すると都市の経営・存続も危ぶまれるため、今後、喫緊に取り組むべきテーマとして捉えて、戦略性を持って重点的に各種施策を展開していきます。

① 高齢化社会への対応

現在、本市の高齢化率は約17%で、今後も増大の傾向にあります。詳細に見ると、中心市街地や山間部では高齢化の進展が深刻であり、今後、地域の活性化の低下のみならず、コミュニティの維持・存続さえも危ぶまれます。これにより、森林や農地等が荒れ、都市部への影響も生じるおそれもあります。

《検討する対策の例》

- ・ 歩いて暮らせるまちづくりによる中心市街地や地区中心部への定住促進
- ・ 集落環境やコミュニティの維持に向けた各種支援策の展開
- ・ 「ゆ〜バス」の運行路線・本数の見直し（市街地内での運行の充実化）

② 都市の拡散（人口減少と郊外化）への対応

“人口が増えるのであれば郊外化は問題ない”という意見が聞かれますが、これにより、郊外において後追いの都市基盤の整備や各種公共サービスを展開する必要が生じるとともに、市街地における効率的な都市基盤の利用・公共サービスの提供にも支障が生じます。財政への大きな負担に加え、郊外地域の伝統的な田園景観の崩壊や交通量の増大に伴う環境問題の悪化のおそれもあります。

《検討する対策の例》

- ・ 用途地域内における優先的な都市基盤の整備・公共サービスの展開の推進
- ・ 整備した地域への居住誘導による都市基盤の効率的な利用の促進
- ・ 郊外における宅地化の抑制（開発制限のみならず、固定資産税や都市計画税の適正化等も含む。）

③ 広域的視点に基づくまちづくり

広域交通網の整備は、住宅のみならず様々な施設の立地場所の自由化を促し、東北新幹線の整備・那須塩原駅の設置による本市の人口増加への影響にもあるように、都市経営に大きな影響を与えます。これに対して、単に「広域交流人口の拡大」とメリットに着目するのみならず、「周辺都市に都市機能や人口が流出するかもしれない」との危機感を持って、各種施策の展開に取り組む必要があります。

《検討する対策の例》

- ・ 広域交通網のさらなる整備
- ・ 魅力ある市街地形成
- ・ 地域資源を活かした観光振興

2. 進行管理

社会経済情勢に的確に対応したまちづくりを効率的かつ効果的に展開し、将来像の実現を図るためには、都市計画マスタープランで記載された方策が的確に展開されているか、方策自体に修正・追加の必要がないか、について常に精査することが重要となります。

このため、庁内でワーキンググループを設け、都市計画に関連する部課で計画の進行状況について確認し、必要な施策や各種事業の連携について検討を行います。

また、地域別構想については、市民と行政で話し合いを重ねながらより住みよい地域づくりを進めていくものであるため、今後、充実化・見直しを行っていきます。

3. 協働によるまちづくり

都市は、そこで生活を営む市民のために形成されるものであるとともに、行政を中心とした都市基盤の整備と民間を中心とした開発・建築が両輪となって形作られていきます。このため、まちづくりにあたっては、官・民が分け隔てなく、都市計画の決定手続や具体の開発・建築行為に参画できる環境づくりを進めていきます。

具体的には、都市計画の決定手続における情報発信と意見が言える場の確保、都市計画提案制度・地区計画の案の申し出制度等を活かした市民・事業者の発意によるまちづくりを進めていきます。